

令和6年度第3回 岩国市子ども・子育て会議 会議録

概要 日 時 令和7年2月18日(火) 15時00分～15時45分
場 所 岩国市役所2階 特別会議室
出席者 中村会長、渡邊委員、森脇委員、中邑委員、安本委員、川村委員、
大野委員、三木委員、升田委員、三浦委員、
欠席者 岡崎副会長、江藤委員、宮田委員、木村委員
傍聴者 なし
事務局 こども家庭担当部長、こども家庭課長、こども家庭センター長、保育幼稚園課長、政策班長、こども相談室長、母子保健班長、認定・給付班長、放課後保育班長

議事 1 岩国市こども計画最終案について
2 その他

配布資料

- ・会議次第
- ・岩国市子ども・子育て会議委員名簿
- ・配席表
- ・岩国市こども計画(案)
- ・岩国市こども計画(案)に対するパブリックコメントについて(回答案)
- ・資料修正
- ・幼稚園型認定こども園への移行について

議事録署名委員 渡邊委員、森脇委員

議事の経過

1 岩国市こども計画最終案について

(事務局説明)

会長 ご意見はありますか。

委員 漢字の子供とひらがなのこどもの表記で、これまでの計画名であったり、事業名であったときに漢字だったら漢字が使っている、今後の取り組み等については、こども計画等にも鑑みて、ひらがなだと感じましたが、そういう整理ですね。例えば基本計画の振り返りを見たときに、20ページにはひらがなでこども、23ページには、安心して子どもを産み育てる、この子どもは、ひらがなではないのか、揺れがある。

事務局 今後はこども家庭庁の指針にあわせてひらがなで統一してまいります。今回作成計画につきましては、ひらがなで統一。アンケートの内容や前期計画に使っている子ども

もというのが漢字とひらがなで進んできていたので、漢字とかなが混ざっています。

委員 例えば 23 と 20 ページは、同列でもあるけれども、漢字とひらがなが混在するというのは仕方がない整理ということでしょうか。

事務局 アンケート調査票で子を使っているので漢字にしています。調査票からそのままではないものはひらがな、調査項目をもってきたものは、調査票にあわせて漢字にしています。

委員 そういう整理がなされていれば結構です。

委員 1 ページ「計画の概要」の、下から 2 行目に「子ども・子育て支援事業に関する事業量等」で量が出てきます。第 6 章の「量の見込みと確保方策」の量というのは、数字の見込みという意味合いを表していると思います。この計画の趣旨ということを説明する中で、事業の量を定めるという印象を受けました。6 章ではこどもの人数などが主な量だけれども、下から 2 行目は事業の量等と、この使い分けがちょっと引っかかります。

会長 第 6 章のタイトルも含めて、その中でも 1 から 6 の 6 章の項目の中にも子育て事業の量の見込みという表現もあります。

委員 そういう面も含んでいるという意味で量と使っている、違和感がなければ結構です。

委員 「こども」の話ですが、実際は漢字で書いたほうがいいですか、ひらがなで書いたほうがいいですか。

会長 今はもう全てひらがなです。文部科学省もひらがなです。

委員 保育の方は「こどもたち」という場合、子と達を漢字で「ども」がひらがな、幼稚園は「子供」が漢字で「たち」がひらがな。今回こども家庭庁がこどもでひらがな統一するならそれでいいのではないかと。「たち」をどうするか議論は残ると思います。幼稚園はずっと「たち」はひらがな、保育園では、「ども」がひらがなで「たち」が漢字。そのままの流れでいくとひらがなの「こども」に「たち」までひらがなか漢字かという話が出てくるかもしれません。

委員 これから出てくると思われる文書を参考にしましょう。

委員 15 ページ (6) 児童虐待相談対応件数の推移の表の 2022 年度の数字ですが、214,843 とありますが、前の資料を見たら、219,170 と、4,500 弱ぐらい差があります。どちらが正しいでしょうか。

委員 2022 年度は、虐待の対応件数の数の拾い方が県によって違っていたので、国から集計し直すよう指示がありました。最近確定の数が国から示されたのでこちらが正しいです。

委員 2021 年度以前の考え方は同じですか、違いますか。

委員 統計の基準としては同じですが、そのとり方が、本当に虐待認定されたものしか入っていなかったところや、通告は全部入れていたところとか。山口県は数えなおしても同じ数でしたが、全国では、数えなおしたら数が変わったところが。

委員 2021 年度までも間違っているかもしれないけれども、それはわからないということですね。

委員 見えない数もあるということですね。

委員 実際の相談対応件数だけです。相談していない方もいらっしゃいます。それはわかりません。

委員 順番があるかはわかりませんが、保育園、認定こども園、幼稚園の並び、中点と読点という状況を統一してみてもいいのでは。

事務局 精査します。

会長 その他、軽微な修正については事務局で修正いただき、修正内容については会長一任でよろしいでしょうか。

(一同、同意)

(会長より答申)

会長 「その他について」あればお願いします。

事務局 令和6年度になってから、法寿幼稚園の園長先生より、幼稚園型認定こども園への移行について相談をいただく機会がありました。令和7年1月21日に正式に意思表示をされ、令和8年4月からの移行に向けて、手続きを進めていきたいとのことでした。

川下地区周辺につきまして、岩国駅前や東地区への通勤経路としての保育需要もあり、周辺地区の保育園等も含めて、入園希望が多い地区の一つとなっております。既存の園との共存が第一ではありますが、現在保育需要の多い地域であり、中・長期的に地域の保育需要が減少したとしても、公立のかわしも保育園の定員を見直すことで、私立園の入園児数への影響を軽減できる状況でもあります。

法寿幼稚園の幼稚園型認定こども園の移行についてご審議いただきますようお願いいたします。

委員 この地区というのは、先ほど説明にありましたように、これからも保育ニーズが見込まれるというのは肌感覚でもわかっているところです。一方で、幼稚園型認定こども園にするのであれば、3年間は定員を維持していただくことが絶対的に必要であると思います。それとは別に、1号と2号認定という枠の中で、仮に、1号認定の方が2号認定より少なくなるような時代が来たら、保育の方が足りないということになるので、公立の保育園で調整するということになるでしょうが、認定こども園そのものが1号認定が少ないことになるなら、保育所型の認定こども園にしていけないと。幼稚園型の認定こども園で3号認定の定員を設定することによって、満3歳児を受け入れられるという枠ができてきます。年間の間に満3歳になったら、そこで一旦2号認定もしくは1号認定にうつって3号あけて3号を増やす。3号を増やすことによって、0、1、2歳の3号認定が増えるから定員をあげるというやり方をされたら保育園はひとたまりもありません。保育園会では、当面変わられたら定員は維持してくださいというお願いをしています。2号、3号しかない保育園が定員維持できないのに幼稚園型認定こども園が3号を上げて定員を上げていくというのはおかしいと思います。これを定員増への足踏みとして3号を上げていくのは保育への影響を及ぼすだけに、考えてほしいと思っております。

事務局 3年間の定員の据え置きについては説明をさせていただき、了承いただいています。また、先ほどの3号認定、2号認定のいわゆる移籍の問題ですが、全体的な保育の需給バランス等を加味しながら総合的に決めてまいります。どちらも大事な施設ですのでよろしくお願いします。

会長 事務局の方から説明があった内容につきましては、よろしいでしょうか。

(一同、同意)